

青少年健全育成大会

わたしの主張発表大会

問合せ 社会教育課
電話 055 948 1461

とき 11月8日(土) 開場 12:30 13:00 ~ 16:00
ところ アクシスかつらぎ大ホール 入場無料



昨年度大会より

青少年健全育成功労者の表彰

わたしの主張発表(順不同・敬称略)

- 「わたしのおじいさんおばあさん」
大仁小学校 菅沼 里咲子(6年)
- 「夏休みの2つの体験を通して」
大仁北小学校 尾鷲 結衣(6年)
- 「将来の伊豆の国市」
大仁東小学校 川口 幹也(6年)
- 「思いをつないで」
長岡南小学校 高村 莉瑚(6年)
- 「心のユニバーサルデザインを持とう」
長岡北小学校 加藤 凌也(6年)
- 「富士山を世界遺産に」
葦山小学校 池田 杏奈(6年)
- 「歴史のまち『葦山』まちづくりへの提案」
葦山南小学校 川口 真澄(6年)

各小中学校の子どもたちが、毎日の生活の中で感じたことや考えたことを発表します。子どもたちの言葉に耳を傾けてみませんか。また、ドラマ『ヤンキー母校に帰る』で有名な義家弘介氏(参議院議員)を招いて講演会を開催します。お誘いあわせてお出かけください。

*なるべく公共交通機関や乗り合わせでお越しください。

「当たり前の中の大切なこと」

大仁中学校 植松 葵(3年)

「失ってから気づくこと」

長岡中学校 松下 美織(3年)

「高齢者への思い」

葦山中学校 渡辺 麻美(3年)

人権啓発活動記念講演

演題 『夢は逃げていかない』

講師 義家弘介氏



ヤンキー先生がやってくる!

秋の早朝あいさつ・声掛け運動

11月7日(金) 各地区育成会と市P連が中心となって、朝のあいさつ声掛けを行います。

登校時間に
通学路や校門で!

11月は静岡県青少年健全育成強調月間です

「地域の子どもは地域で育てる」という共通の理解と認識を広め、地域の一人ひとりが青少年の行動に目や耳を傾け、非行防止と健全育成、社会環境の浄化に取り組みましょう。

特定健診 受診しましたか?

六月一日から三カ月間、四十歳以上の国保被保険者と後期高齢者へ健康診査を実施しました。この間に受けられなかった人は、次のとおり受診ができます。健診料は無料です。
* 国民健康保険の人間ドックを受けた人、受けようとする人は受診できません(人間ドックは人数制限がありますので、事前に国保年金課へ問い合わせてください)。

8月29日または8月31日有効期限の受診券をお持ちの場合
12月1日(月)~25日(木)まで有効としますので、そのままお使いください。
受診券を紛失または処分してしまった場合
再発行します。国保年金課へお申し出ください。
7月1日~9月30日までに国保の資格取得の届出をした場合
11月末までに受診券をお送りします。

胃・大腸・肺がん追加検診

検診料は無料です。希望者は、健康づくり課へ予約してください。

* 今年度受診済みの人は受診できません。

実施日 十一月二日(火)大仁市民会館
十一月三日(水)葦山保健センター
受付時間は八時~十時三十分

胃がん 胃バリウム検査
対象 三十五歳以上の市民
大腸がん 便潜血反応検査
対象 三十五歳以上の市民
肺がん・結核 胸部レントゲン撮影
対象 四十歳以上の市民
自覚症状のある人は、検診を待たず医療機関での受診をおすすめします。

申込み締切
11月20日(木)

問合せ 健康づくり課 電話 0558 76 8014

問合せ 国保年金課 電話 055 948 2905

市長への
メッセージ

「意見ありがごとく」をお願いします!

まちづくりご意見箱

伊豆の国市は歴史のまち。豊富で貴重な史跡を、温泉観光と結びつけて(東京のはとパスのように)、『温泉つき史跡巡り』を企画したらどうか...(八十代男性)
今年から、市観光協会、NPO法人伊豆の国ルネサンス、伊豆箱根バス、伊豆の国歴史ガイドの会が連携して、『富士山と歴史巡りバス』を毎週日曜日の午前中に運行しています。これは、温泉駅を出発して葦山反射炉、江川邸、蛭ヶ島、願成就院などの史跡をめぐる観光バスで、歴史ガイドが同乗して、詳しい解説を加えてくれます。また、今後増加する外国人観光客への対応として、通訳サービスも用意しています。



富士山と歴史めぐりバス

担当 観光商工課 電話 055(948)1480

青少年の事故や事件を防ぐため、通学路の防犯灯等の点検、夕方のパトロールをしてほしい...(年齢不詳・女性)
通学路の防犯灯等の点検については、教育部署と連携し、防犯灯の設置基準の見直しや適正配置に努めます。夕方のパトロールは現在、大仁警察署や青色回転灯付きの公用車がパトロールを実施していますが、子どもたちの通学区域は広範囲に及び、警察や市職員だけで全域を定期パトロールすることはできません。市では、区やPTAを対象に『青色防犯パトロール講習会』を実施しています。これまでに受講し、現在活動しているのは三百三十六人で、この人たちが同乗すれば、青色回転灯の公用車による自主的なパトロールが可能です。安全で安心な地域社会は、地域の皆さんとの協働により実現していきたいと思えます。



青色防犯パトロール車

担当 安全対策課 電話 055(948)1412

七月から子ども医療費が小学校三年生まで無料化されてうれしい。自己負担(五百円)を払ってもよいので、小学校六年まで、できれば中学三年まで延長してほしい。高齢者にはタクシー券があるように、子どもたちにも特典を検討して...(年齢性別不詳)



子ども医療費助成

子ども医療費の対象者を拡大していくことは、子育て中の家庭を支援する施策としては有効です。しかし、小児化対策・子育て支援のために、市が進めていかなければならない施策は、医療費助成拡大だけではありません。限りある財源を有効に活用し、時代にふさわしい子育て支援を実施していきます。

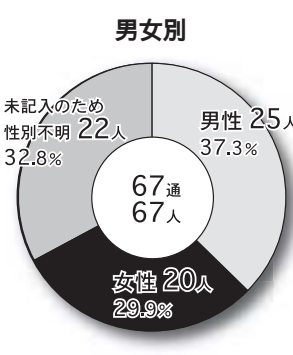
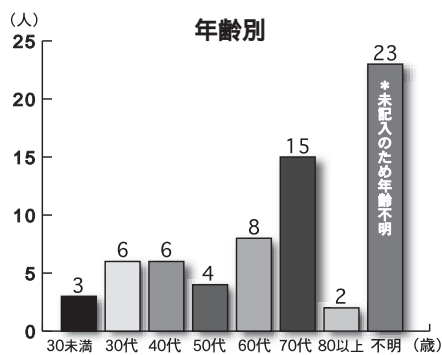
担当 福祉課 電話 055(876)8008

保育園・幼稚園の耐震工事を早急!(三十代女性)

耐震診断の結果、耐震性能が低いとされた市立保育園・幼稚園は五園あり、耐震補強や建て替えを同時に実施することはできません。保育園・幼稚園を含めた教育施設全般の整備計画を策定し、計画的に工事を進めます。まずは徹底的な財政状況で、多くの問題を解決しなければなりません。子どもたちが安心して通園できる保育園・幼稚園を目指していきたいと思えます。



担当 施設整備室 電話 055(948)1419



今回ご意見を寄せてくれたのは、計六十七通六十七人の皆さん。前回までは女性が多い傾向でしたが、今回は男性の方が多くなりました。年齢別では、七十代の人から、後期高齢者医療制度などについて多くのご意見をいただきました。

まちづくりご意見箱
平成20年度 上半期
(4月~9月分)